

にぎわい産業のまちづくり

—「西陣」を活かした上京活性化プロジェクト—

1 構想の目指すもの

5～6世紀に大陸からの渡来人によってもたらされた養蚕と絹織の技術は、平安京に根を下ろし、応仁の乱の際に山名宗全の陣が置かれた「西陣」において、その名を冠する産業としての地歩を築いた。

近世には、信長、秀吉の保護を経て、江戸前期には国内シェアの面でも、その品質や芸術性等の面でも我が国を代表する絹織物産業の集積地となった。

江戸後期には、新興機業地の台頭や凶作による不況の中で停滞し、東京遷都で大きな痛手を受けたが、ジャカード等の西洋技術の導入にいち早く成功して蘇り、昭和期の大衆需要の拡大を背景として大きく成長し、京都、上京を代表する近代産業となった。

生活様式の変化に伴い、和装(着物)離れが進み、歴史上2度目ともいえる西陣の困難な時期を迎えているが、改めて、深く蓄積されたデザインや技術を継承し、今日的なニーズにこたえ得る新たな展開を図ることが、上京ひいては京都の活性化に不可欠の



課題である。そのため、

- ・国際的な視点に立ち、和装以外にも視野を広げた西陣機業の展開
- ・観光客に来て、見て、着てもらう、新しい西陣産業の展開
- ・西陣織をはじめ、地域の歴史文化と結びついたデザインや工芸、商業・サービス業、さらに町家など、地域の資源や「西陣ブランド」をうまく活かした多様な産業集積の形成

等の視点から、にぎわいある産業の活性化と雇用の確保を図るものとする。



2 主な取組の方向

(1) 西陣機業の振興

西陣織の伝統技術を継承しながら、デザイン力等を活かした新たなマーケットの開拓を進めるとともに、着物を着て楽しむ機会づくりを通じた需要の創出など、多様な方法による西陣機業の振興を支援する。

○ 西陣織などの伝統技術・デザイン力の継承

- ・熟練技術者の有する伝統技術・技能の継承、活用システムの創設(例えば市独自の「特別技能士活用制度」等の創設)
- ・関連工程も含めた後継者の育成

○ 西陣織のデザイン力の充実強化

- ・国際的なデザイン交流、新しいデザイン文化の吸収の促進

○ 情報通信技術(IT)の活用

- ・電子商取引(Eコマース)の普及
- ・デザイン等における情報通信技術(IT)の活用促進

○ 新たなマーケットの開拓

- ・絹以外の多様な織物分野への展開促進
- ・和装以外の多様な繊維製品分野への展開(例 西陣織の靴など)
- ・デジタルアーカイブ事業を通じた異業種交流、新商品開発等への展開

○ 着物を着て、まちなかを歩くことが楽しめるイベントの実施

- ・「京都西陣夢まつり」など、着物の普及につながる観光イベントの充実





(2) 西陣ブランドを活かした観光地としての地域整備

全国的にも有名な「西陣」の地域ブランドを活かし、歴史文化を享受でき、人々の暮らしと調和した、魅力的なまちなか観光の拠点地域として、西陣地域一帯の環境整備を進める。

- 西陣織の歴史や上京の伝統文化にちなんだ新しい魅力集客施設の検討
 - ・「西陣ものづくり体験館」,「西陣工芸館」といった魅力ある集客施設の検討

- 関連した民間観光・商業施設の展開
 - ・「西陣ギャラリーショップ」,「町家を活かした小規模滞在ホテル」,「個性的な飲食店舗」等の民間による観光・商業の展開

- 西陣織を体験する体験型観光のソフト開発
 - ・子どもたちの西陣織体験学習の促進

- 観光駐車場の確保
 - ・金融機関等の業務施設や公共施設等の駐車場を 休日・祝祭日に観光用に開放するなど、駐車場の確保



- 情報発信
 - ・各種メディアを活用した地域情報、産業情報、観光情報等の総合的な「西陣情報」の発信
 - ・西陣をテーマとした映像の制作 (大河ドラマのプロデュースなど)

- 西陣織会館の活用・拠点化
 - ・織行程や関連工程の公開及びその充実
 - ・各種イベントの開催



(3) 地域に密着した商業の展開

区民の生活を支える商業については、商店街ごとの個性を打ち出した魅力ある取組を促進するとともに、高齢社会に対応した買い物サービスの充実など、区民の消費ニーズにきめ細かく対応した商業の展開を支援する。

- 「上京」,「西陣」ブランドを活かした店舗展開
 - ・広い意味での文化・ファッション情報の発信拠点としての店舗、商店街の展開
- 高齢社会を踏まえた商店街の新しい仕組みづくりと環境整備
 - ・高齢者向け御用聞き・宅配・買い物代行システム等のきめ細かいサービスの充実

- ・まち全体のバリアフリー化、歩きやすい商店街づくり
- ・商店街の中に、お年寄りが気軽に集える場の提供 (空き店舗の活用など)

(4) 地域の資源を活かした新しい魅力的な産業の創出

西陣機業をはじめとする地域の様々な資源を活かした新しい活力ある産業の創出を図るとともに、上京の空間資源でもある町家を都市の新たな産業活動等の場としても位置付け、多様な活用を促進する。

- 新たな都心産業の創出
 - ・西陣機業など既存産業をベースとした新産業の育成
 - (例) ・ウェディングドレスをはじめファッション関連産業やタペストリーなど高芸術性産業の可能性追求
 - ・新タイプの経営者 (デザイナー、女性など), 異色起業家輩出の促進
 - ・意欲あふれる小規模企業の誘致 (各種工芸関連企業や食品関連企業など)
 - ・西陣織会館・小学校空き校舎の活用
 - (例) ・産業インキュベーション機能の設置
 - ・西陣機業等との交流拠点

- 町家の多様な産業活用の促進に向けた斡旋等の仕組みづくり
 - ・京都市景観・まちづくりセンターによる町家活用登録バンク等の公的斡旋, 仲介システムづくり

